

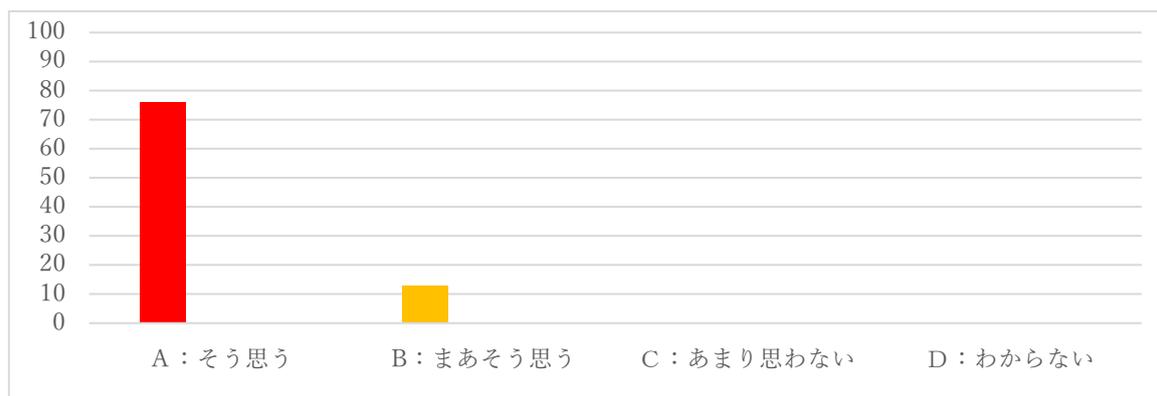
【乳児 園教育・保育アンケート まとめ】

令和5年度

アンケートへのご協力、ありがとうございました。昨年度同様今年度も、保育内容の改善を中心に進めてまいりました。保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力により支えていただき、ありがとうございます。皆さまから頂いた結果を、ご報告させていただきます。未来ある子ども達のために、本当の意味での「子ども自身で伸びていく力を伸ばす質の高い保育・教育への転換」を目指し、今後も努めて参りますので、宜しく願い申し上げます。

保育啓発

1. 登降園時の話や掲示物(生活や遊び、行事の様子ポートフォリオ等)、園だより(今月のクラスの様子)などを通して、子ども達の様子や日々の活動について伝えている[A:76,B:13,C:0,D:0]

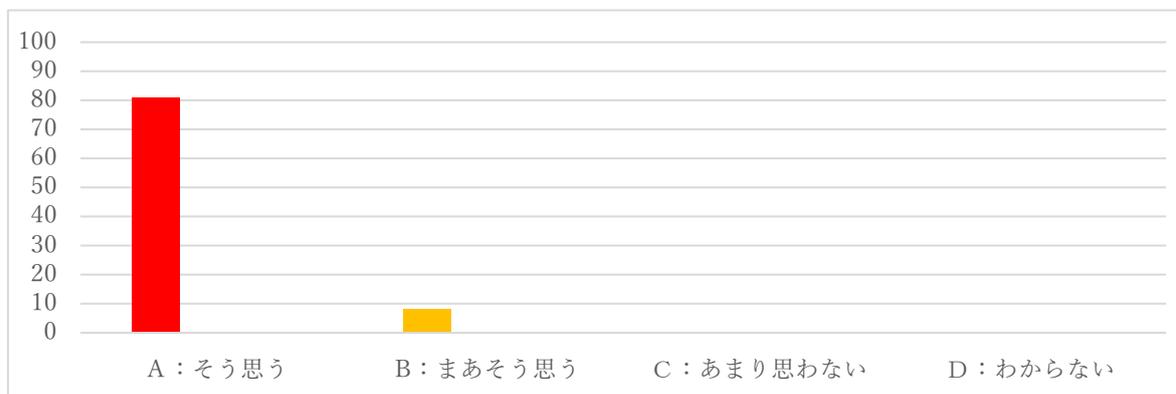


(次年度に向けて)

・1年間を通して遊びや行事のたびに、クラス前やエントランスに写真を掲示する方法にて、保護者の皆様に「今日は、こんなことをして遊んでいたんですね」と感じていただけるようにしてきました。乳児は生活面が1日の中心ということもあり、今年度は、お昼の給食の様子を毎日掲示いたしました。「家ではあまり食べないのに、喜んで食べていますね」など、嬉しいお声をいただくことができました。写真の掲示の方法や枚数については、各クラスによって様々ではありますが、次年度も保育に支障をきたさない程度に可能な限り、お子様の普段の遊びや生活の様子や行事の様子などを、随時お知らせしていきます

- 連絡帳等を通してお子様の様子を知ったり、保育者と情報交換をしたりすることができる

[A:81,B:8,C:0,D:0]

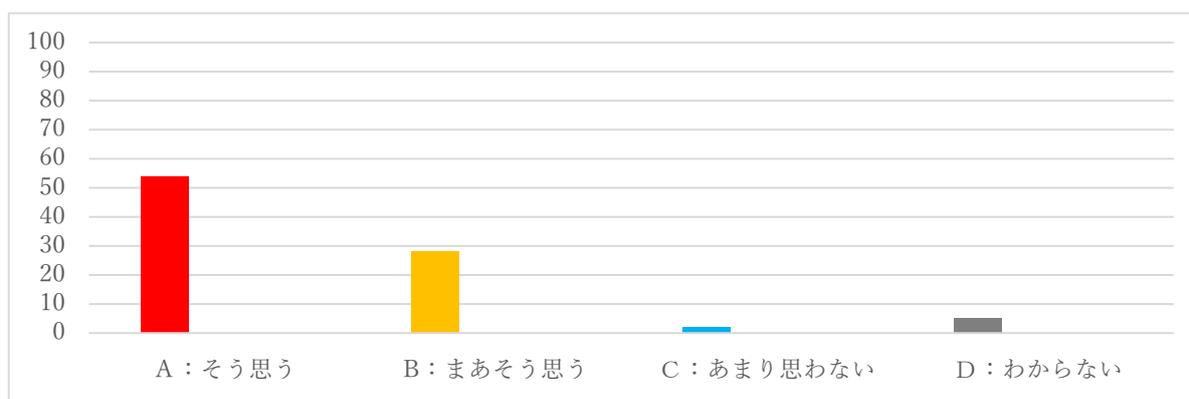


(次年度に向けて)

・連絡帳は、普段なかなかゆっくりとお話する機会のもてない保護者の皆様との、大切な情報交換の手段です。しかしながら、“文字にてすべてを分かり合うことはなかなか難しい”という現状もあります。そこで、昨年度同様今年度も、個別にお話できる機会や希望性の「子育てコミュニティ」の時間を設け、少しでも保護者の皆様と一緒にお子様の成長や子育てについてお話ができるようにしてまいりました。普段、中々お話しできない保護者方々の子育ての悩みを始め、お子様の成長について共有することができました。昨年度よりも利用者が増えたことも、大変うれしく思っています。次年度も、保護者の皆様お一人おひとりの思いに寄り添いながら、連絡帳だけではなかなか伝えきれない部分を補うことができる「話し合いの機会」を適時取り入れ、保護者の皆さまと手を携え、お子様の成長を見つめていけるように努めてまいります。

2. 行事参加(親子遊びの日の活動)等で、お子さんの普段の様子や育ちを知ることができる

[A:54,B:28,C:2,D:5]



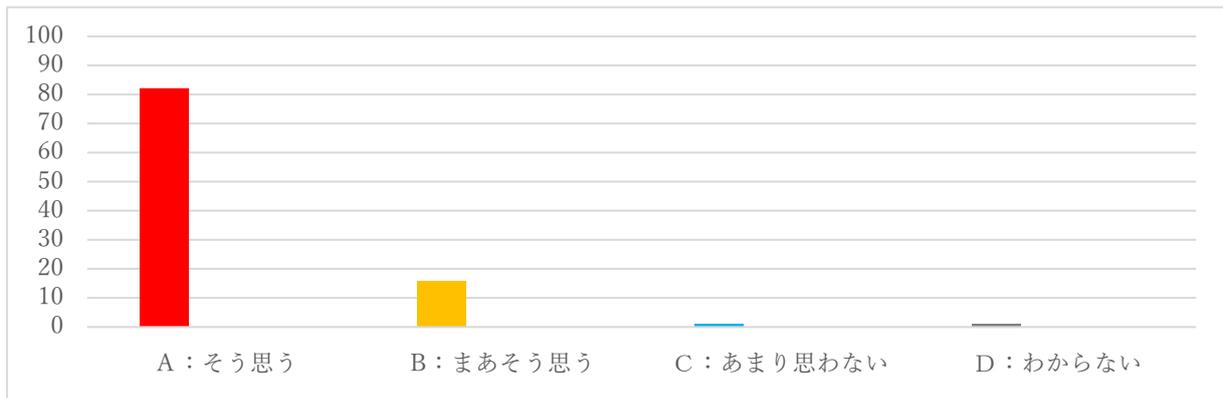
(次年度に向けて)

・保護者の皆様よりは「もっと、お子様の園生活の様子を見たい」とのお言葉を耳にすることはありますが、0歳児より2歳児という年齢において、子どもたちに無理のない形で見ていただけるように園としては努めておりますので、年間を通しての回数が少ないことは、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。乳児期の発達の中で一番大切なことは、「お子様と触れ合い共に遊ぶ中で、お子様と“楽しい時間”を共有していただくこと」にあります。その一つが、「親子遊びの日」です。大好きなおうちの方と一緒に園という集団の場で遊ぶ経験を積み重ねることが、今後の「人とのかかわる力」へとつながってまいります。次年度も、「乳児期のお子様の発達に必要なかどうか」ということを常に考えながら、慌てないで保育をすることを心掛けてまいります。保護者の皆様には、お子様と共に楽しんでいただきながら、お子さまの育ちを知っていただけるように努めてまいります。

環境構成

3. 遊びや生活が楽しくなるように、お子様が安心して遊べる空間作りや環境構成(プール等の季節の活動や年齢に合わせた遊びができるようにした準備等)を行おうとしている

[A:74,B:14,C:0,D:1]

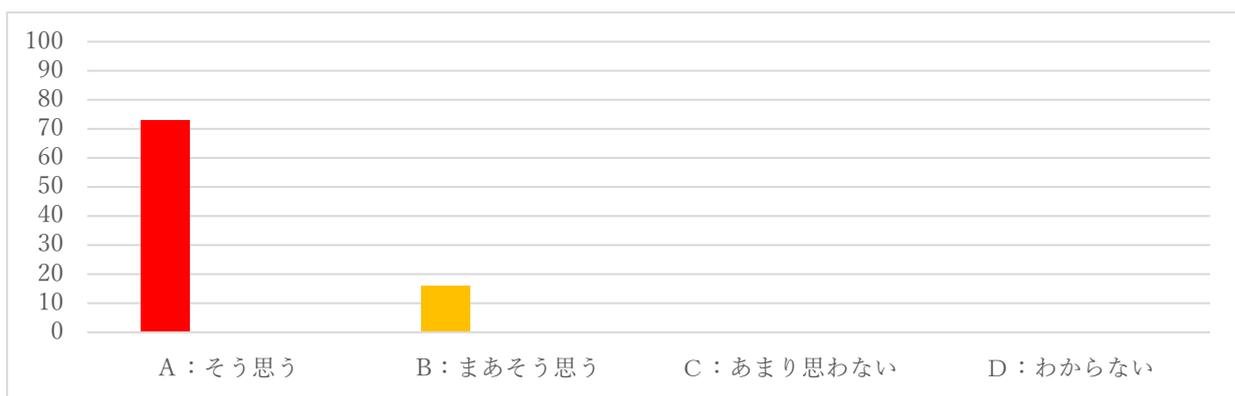


(次年度に向けて)

・今年度は、「一人ひとりの育ちに寄り添い、慌てない保育を目指す」ことに視点を当てて保育を展開して参りました。乳児期は、個人差が大きい時期です。幼児期及びそれ以降の学年において「自分の力で伸びていこうとする力」を持つためにも、慌てないことが必要です。このことを常に意識し、日々、子どもたちの成長の姿と向き合い保育をしてまいりました。各クラスでは、手作りのおもちゃや感覚を刺激する用具、体のいろいろな部位を動かして感じる事ができる道具や自然との触れ合いなどを、年間を通して計画的に取り入れ、創意工夫を凝らしながらお子様が楽しめるようにしてまいりました。また、ゆったりとした雰囲気の中、笑顔でお子様に語り掛け、共に楽しむ私たちの担任一人ひとりが、大切な人的環境であります。その重要性を意識し、お子さま、お一人おひとりの興味や心の育ちをしっかりと見つめ、次年度も取り組んでまいります。

表現力

4. コミュニケーション力や表現力、豊かな心が育つように、信頼関係がもてる関わりや保育を行おうとしている [A:73,B:16,C:0,D:0]



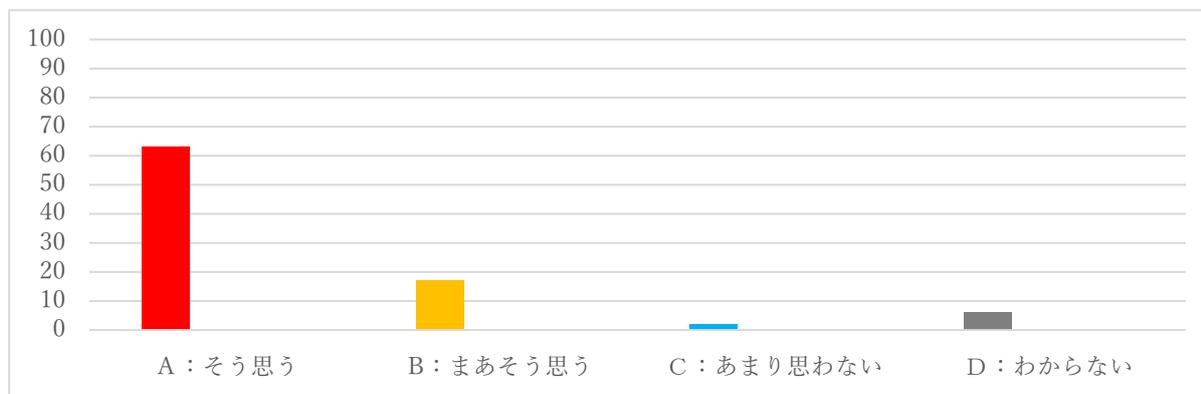
(次年度に向けて)

・乳児期における言葉の獲得には、「信頼のおける人的環境があること」そして「安心して過ごせる環境があること」が必要になってきます。また、体を思う存分動かすことも言葉の獲得には欠かせません。毎日の生活の中で、保育者自身が人的環境としての自身の役割を意識し、かかわることが大切です。これらのことを十分に意識しながら、お子様が表情や仕草、動きなど

を通して、自分の素直な気持ちを表現できるよう、次年度も取り組んでまいります。

飼育・食育

5. 生き物(亀や金魚、ダンゴムシ等)の飼育、食育(見た目からも楽しめる行事食等)に取り組んでいる
〔A:63,B:17,C:2,D:6〕

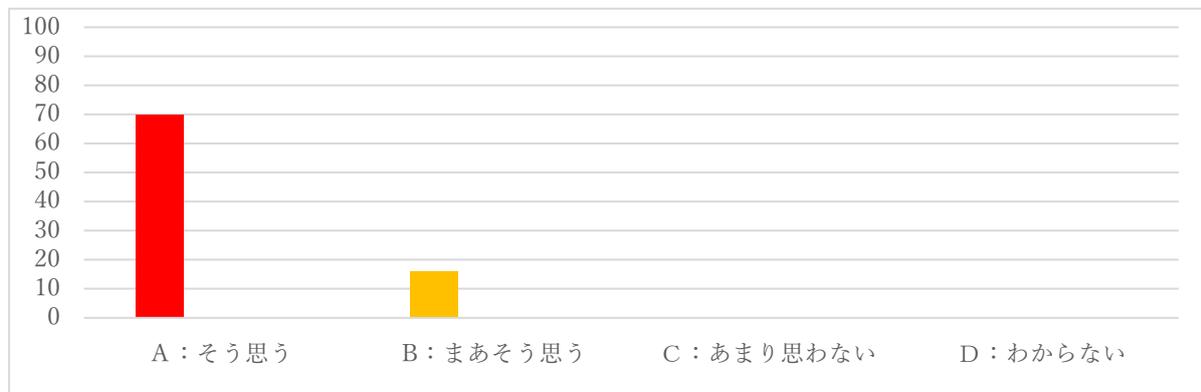


(次年度に向けて)

・豊かな心を育むには、生き物を間近に感じ見つめたり、触れ合ったりできる機会を整えることが必要です。この一つに、エントランスの亀や乳児クラス廊下の金魚の飼育があります。また、幼児が捕まえたダンゴムシやバッタなどを毎日の遊びに時間に眺めることで、自然と親しみの気持ちが芽生えてきます。お子様が一人で生き物を見るのではなく、担任や保護者、幼児クラスのお兄さんお姉さん、学童の子ども達と共に話をしながら見るのが大切なのです。このことの積み重ねが、生き物と親しむ気持ちとなり、いたわったり大切にしたりする気持ちへとつながっていきます。次年度も、いろいろな生き物と出会い触れ合えるように環境作りをしていきます。

生活習慣

6. お子様の発達に合わせた関わりの中で、基本的な生活習慣(楽しく食べる、着替えや片づけなどしようとする、保育者の挨拶に反応する等)を身につけられるようにしている〔A:70,B:16,C:0,D:0〕



(次年度に向けて)

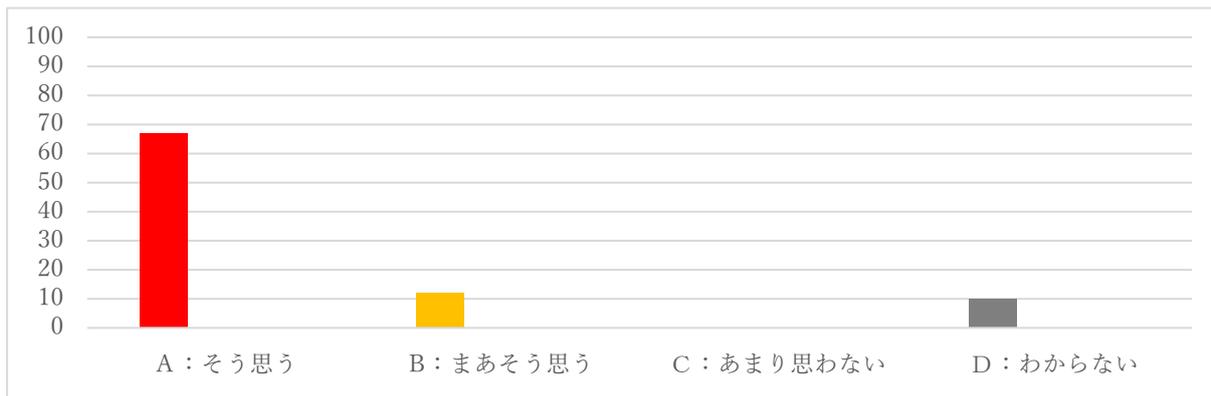
・乳児にとって、決して慌てずに、一人ひとりの発達の速度に合わせた丁寧な関わりを行って

くことは、とても大切な事です。その関わりの中で、小さな「できた」という喜びをたくさんため込んでいくことが必要です。次年度も、個々の発達と時期をしっかりと捉え、タイミングを見極めながら、子ども達の中に「自分でしたい」という気持ちを育てていきます。

避難訓練

7. 火災や地震を想定した避難訓練、消防署との合同訓練を計画し、経験できるようにしている

【A:67,B:12,C:0,D:10】

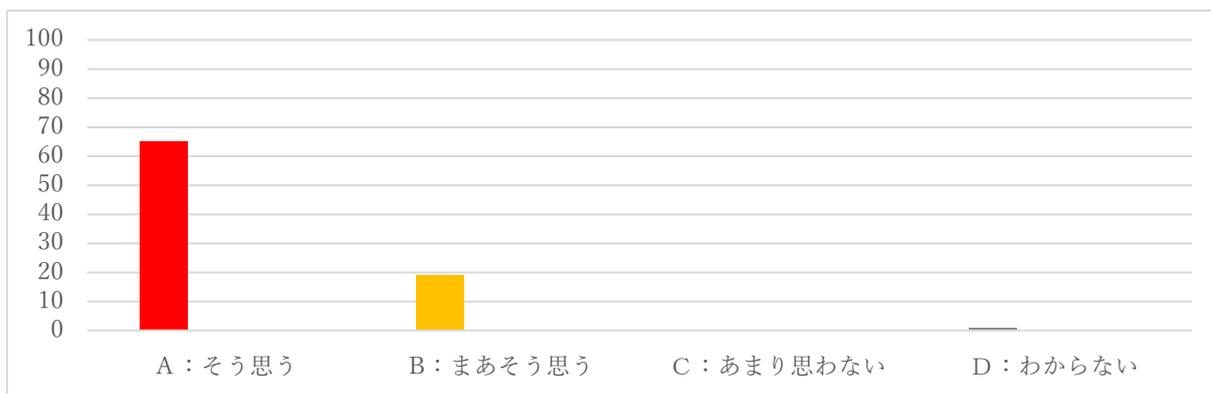


(次年度に向けて)

・園では毎月、火災、地震、不審者などの訓練を行っています。乳児においては、子ども達の園での落ち着く時間やその日の気温などを考慮し実施しています。昨年度に続き、0歳児～2歳児までの子ども達が実際に避難することを想定し、廊下の窓から順に、職員がお子様お一人おひとりを、手渡しして避難するという訓練を行いました。全職員が協力し、短時間にて避難をすることができました。また、厨房には、0歳児の温めなくても缶を開けるだけですぐに飲めるミルクや、離乳食、ビスコ等のお子様を食べられるものを常備しています。クラスでは、担任が子どもたちにわかるよう話をしています。次年度も、引き続き続けていきます。

規範意識

8. 園生活の決まり(遊びや食事の時間などの生活の流れ、遊びの後の片付け等)、集団での約束(先生の話の聞く等)を守れるように教育をしている 【A:65,B:19,C:0,D:1】

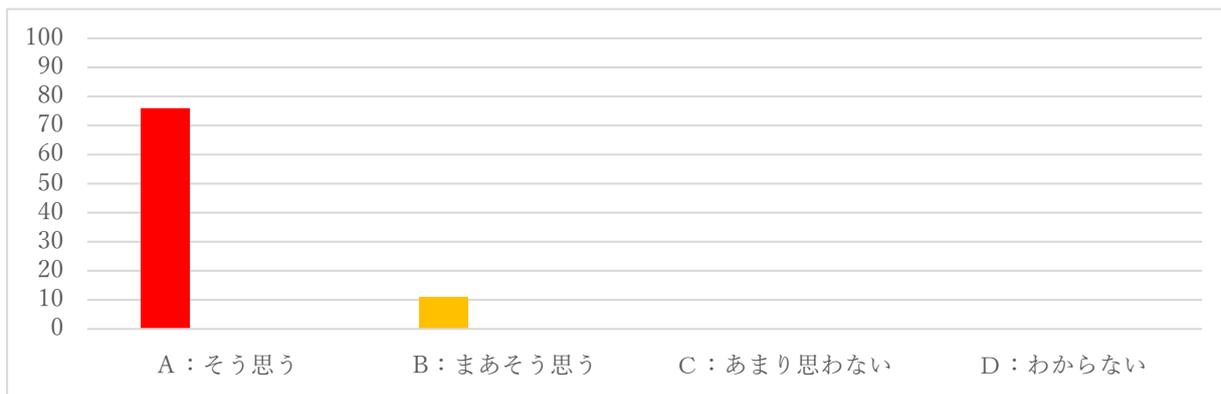


(次年度に向けて)

・乳児にとってまず大切にしなければいけないことは、規則正しい生活リズムを整えることです。まだまだ、個々のペースで生活をしていくのが乳児期の子ども達の特徴です。集団生活の中でみんなと同じように動けるようになるためには、まずは、一人ひとりのお子さまが、自分のペースでいろいろなことを出来るようになっていくことが必要です。この段階を十分に経験し、積み重ねていくことで、子ども達は少しずつ安定した気持ちでゆったりと過ごせるようになります。このことを十分に経験し初めて、自分以外の人の事や周りの様子に気付いていくことができるのです。この「自分で気づく目」を育てることが大切です。園ではこのことを日々意識し、慌てずに、一人ひとりの発達過程に応じた「できた」「できるよ」を増やせるよう、次年度も引き続き丁寧な関わりに努めてまいります。

行事

9. 乳児親子ふれあいの日、作品展などのいろいろな行事を計画し、年間を通して楽しめるようにしている [A:76,B:11,C:0,D:0]

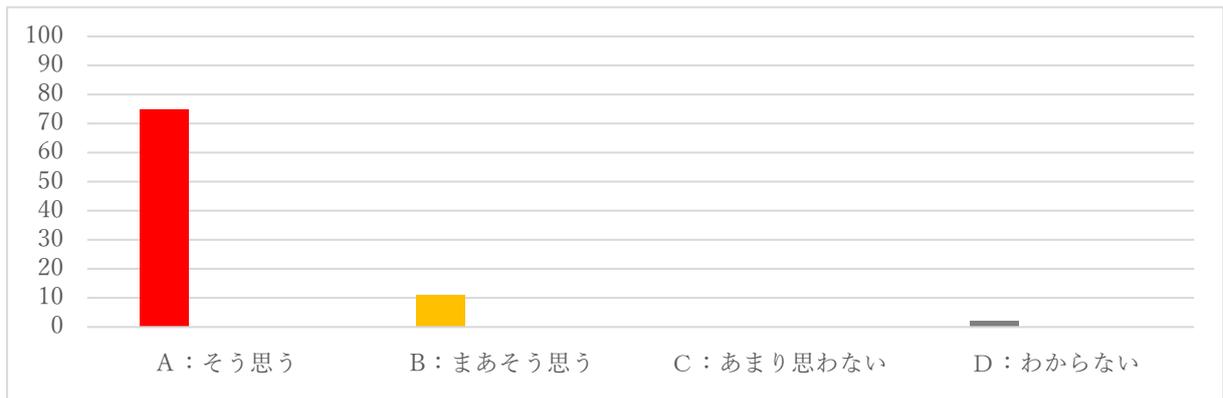


(次年度に向けて)

・お子様が楽しいと感じる時には、必ず周りに大好きな人、親しんでいる人の存在があります。昨年度に続き、一つひとつの行事を単に経験させるのではなく、他のクラスや幼児、学童の子ども達、先生方と共に楽しめるように計画し取り組んでまいりました。乳児期の子ども達は、初めのうちは、なかなか表現力が伴っていない姿や「楽しい」瞬間に反応できていない等の姿があり、周りの大人にはその感情が伝わりにくい事があります。しかし、子ども達は常に「いろいろな事を感じている」のです。私達保育者は常にそのことを意識し、一人ひとりの子どもが「面白そう・やってみたい」と感じ、自分から手を伸ばして関わられるよう、子どもの興味関心に合わせた行事の在り方について考え、取り組んでいます。次年度も引き続き続けてまいります。

豊かな経験

10. 季節に合わせた園外保育や身体を動かす活動、土や水に触れる遊び等、豊かな保育内容の実現を目指している [A:75,B:11,C:0,D:2]

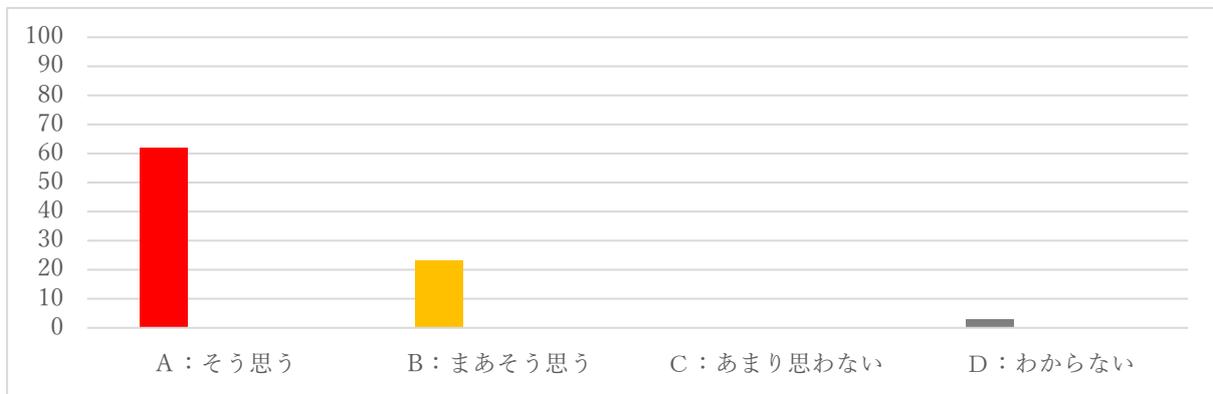


(次年度に向けて)

・今年度も、毎日一緒に過ごす保育者と一緒に楽しめるよう、園庭やクラス、近くの公園への散歩などを、計画的に実施してまいりました。その中で、季節を感じたり、手や目、耳、肌等様々な感覚を刺激したりすることは、これ以降の発達にはとても必要です。子どもたちの「何？」と感じる気持ちの動きを大切にしながら、自分から手を伸ばして自然と触れ合い活動に取り組む経験が積み重ねられるよう、次年度も創意工夫を凝らし取り組んでいきます。

衛生管理

11. 感染症対策(学級閉鎖など適時必要な対応や日々の消毒等)に取り組み、衛生的な環境作りに努めている [A:62,B:23,C:0,D:4]

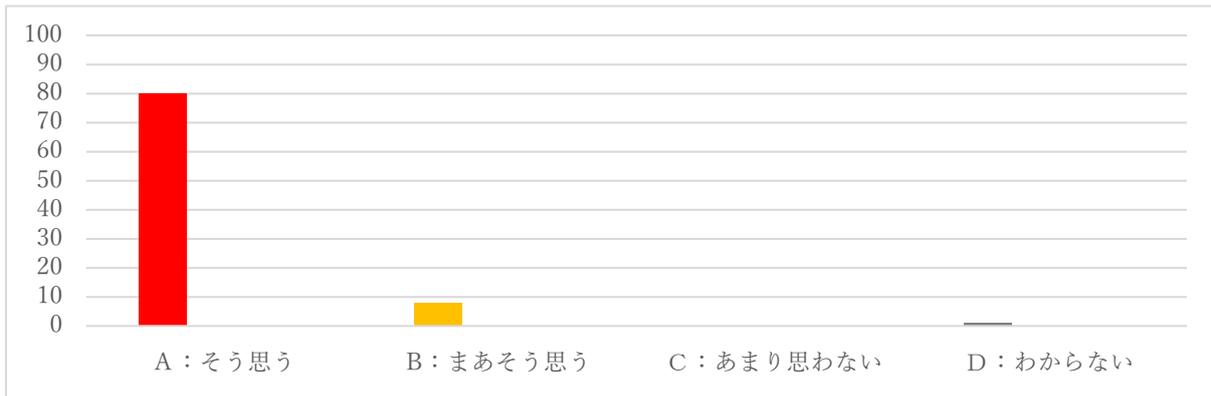


(次年度に向けて)

・昨年度に引き続き、1日の中で時間を決め、徹底的に消毒を行ったり、子ども達の遊びの様子に合わせて随時おもちゃなどの消毒を行ったりしています。また、手指や食事の際に机、いす、床などにつきましても、使用前には必ず消毒を行っています。次年度も、大切なお子様方が安心して過ごせる環境作りに、引き続き務めてまいります。

保育内容

12. お子さんは、日々の遊びやクラスでの活動、園での生活を楽しまている [A:80,B:8,C:0,D:1]

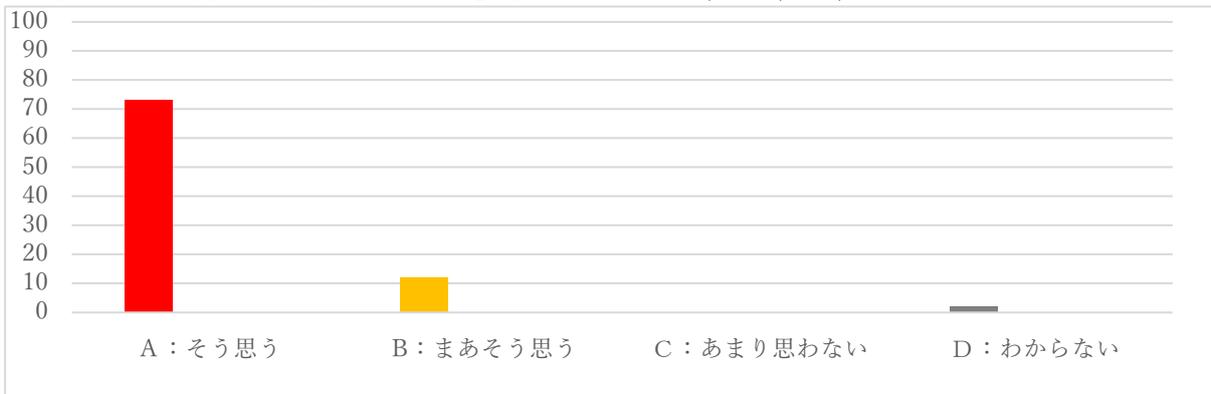


(次年度に向けて)

・私たちは、大切なお子様の可能性を広げるお手伝いができる確かな資質を身に付ける努力を心掛け、日々研修に取り組んでいます。次年度も、子ども達の感覚を刺激し保育者と共に遊ぶことが楽しめるような内容についての研修を積み重ねながら、保育内容の質的向上を目指し取り組んでまいります。

今年度行った具体的な取り組みについて

1. 親子で触れ合い遊ぶ「親子遊びの日」の実施 [A:73,B:12,C:0,D:2]



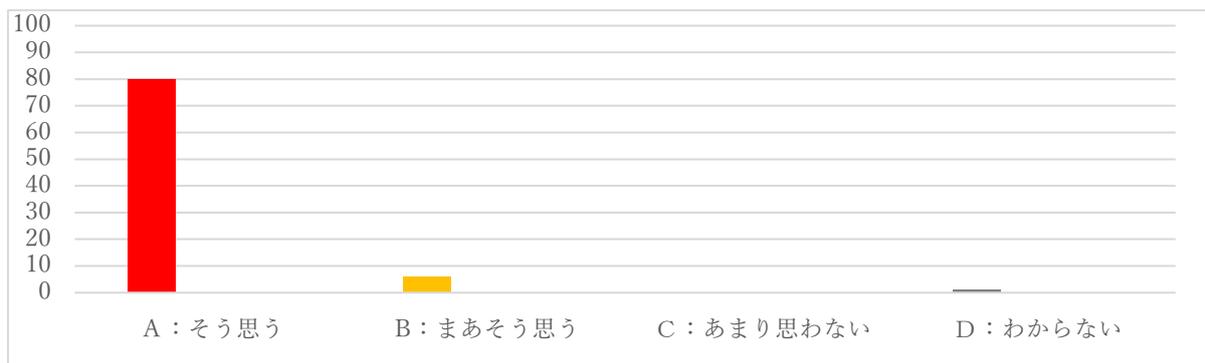
(次年度に向けて)

・保護者の皆様からは、普段子どもたちが過ごしている空間で親子で触れ合い共に遊ぶ機会を持ったことで、「こんな遊びをしてたんですね」「楽しかったです」などの言葉をいただきました。今回も、保護者の皆様がお子様との触れ合いを楽しんでいただけたこと、大変うれしく思っています。次年度も、親子で楽しんでいただける内容を考え、実施していきます。

・親子参観以外に、普段のお子様の様子をもっと知りたいとお声をいただきました。乳児クラスには、保護者の皆様のお顔を見てもいつも通り過ごせるお子様、自分のお父さんお母さんでなくても寂しくなり気持ちが沈んでしまうお子様、お父さんお母さんに早く来てほしいとの思いがあふれてしまうお子様などの姿があり、なかなか参観を実施することは難しい現状があります。しかしながら次年度は、保護者の皆様の「知りたい気持ち」にも寄り添いながら、どのような

方法なら今以上にお子様の様子をご理解いただけるかについても考えていきたいと思ひます。

2. 幼児の作品展など、園内全ての作品の見学 [A:80,B:6,C:0,D:1]



(次年度に向けて)

・「幼児さんの作品も見ていいですか」の言葉が聞かれたことを受け、今年度は自由に見学していただけるようにしました。その中で、「大きくなったらうちの子もこんな作品を作ることができるんですね。楽しみです」などのお声を多数いた抱くことができ、大変うれしく思っています。次年度も、いろいろな園内での活動や取り組みをご紹介する機会の中で、乳幼児期の育ちや発達を知っていただけるようにしていきます。

3. 希望性の相談日「親子サポートコミュニティー」の実施 [A:59,B:25,C:0,D:3]



(次年度に向けて)

・昨年度より始めた「親子サポートコミュニティー」の取り組みですが、今年度は希望される方が増え、日頃からの子育ての悩みなどを分かち合えたこと、多変嬉しく思っています。次年度も回数を増やすなど、気軽に保護者の皆様がお話しできる機会を作っていきます。どうぞ、気軽にご利用ください。

4. 保護者の見学人数を2人から4人までに増やす [A:63,B:18,C:0,D:2]

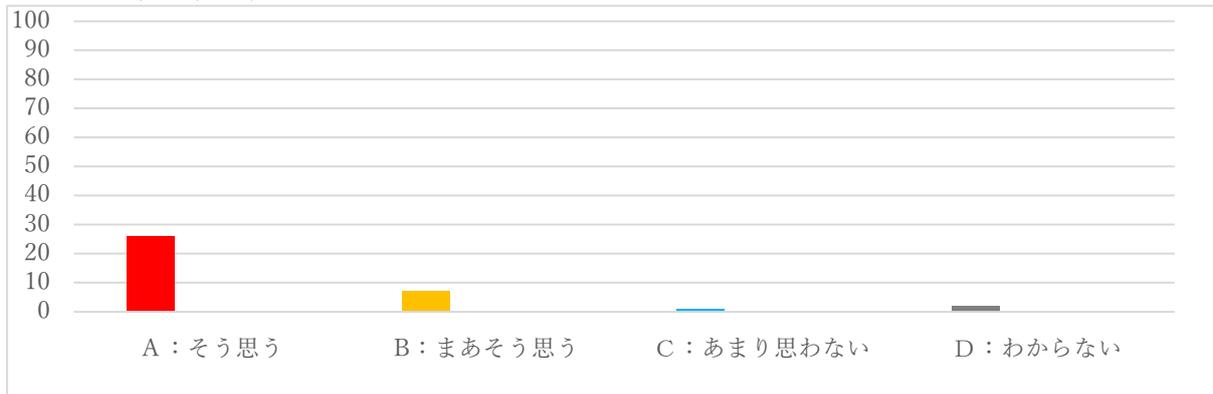


(次年度に向けて)

- ・見学者を増やすことで、より大くの方に子どもたちの園での生活や活動を知っていただくことができました。次年度も、引き続き続けていきます。

5. 参観後の懇談での説明会(3歳児への進級にあたって)※2歳児のみ回答(36名回答)

[A:26,B:7,C:1,D:2]



(次年度に向けて)

- ・懇談終了後に、「丁寧にお話くださったので、不安に思っていたことやわからなかったことが分かり、少し安心しました」などのお声をいただくことができ、大変嬉しく思っています。2歳児から3歳児への進級は、子どもたちにとっても保護者にとっても、大きな環境の変化です。園は、このような保護者の皆様の不安を少しでも解消できるよう、次年度も続けてまいります。宜しくお願い致します。